

## 研究情報公開

受付番号	174
研究課題名	10年間経口摂取できなかつた舌癌患者に対しサイドストロー付きジュレを使用し、嚥下機能が改善した一例
研究機関	医療法人ちゅうざん会 ちゅうざん病院
研究実施者	加藤節子 高吉桃子 原田 旬 金城利雄 前田圭介
研究の背景・目的・方法等	<p>舌癌手術後 10 年間、経口摂取できていなかつた患者に対し、今回、アクアジュレ <b>Two Way</b> を使用した直接訓練を実施した。結果、ゼリー摂取まで可能となつた一事例を報告する。【症例】70 代 男性 10 年前、舌癌により右舌根部部分切除術施行後、胃瘻造設された。下痢のため急性期病院へ入院後、当院回復期病院へ転入。「食べたい」と希望され訓練開始となつた。MWST:3、FT:3 【方法】一日 3 回のおでこ体操とゼリー摂取。アクアジュレ <b>Two Way</b> で直接訓練を実施。</p>
研究期間	平成 29 年 7 月～10 月